



14.誤嚥性肺炎に対する

嚥下機能評価・訓練実施割合

本年度より収集を開始した指標です。

2014年4月よりリハ医が専門研修から戻り、嚥下評価に積極的に取り組みました。4月以降50%台→70%に増加。嚥下内視鏡を導入するとともに、看護師による嚥下機能評価を強化致しました。実施しなかった患者は経管栄養などのため、主治医が検査不要と判断した患者です。

評価後は、看護師・リハビリによる訓練を行い、退院時は家族・施設職員へ食事介助などの助言を行っています。

